

目指す学校像	あいさつが響き 一人ひとりのよさが輝く 楽しい学校
重点目標	1 教育D Xの充実と学びのポイントをいかした学ぶ楽しさ、わかる楽しさが実感できる教育の推進。 2 I S Sの取組を継承して、安心・安全な美しい学校づくり。 3 コミュニティ・スクールの充実と保護者、地域から信頼される学校づくり。 4 教職員の（well-being）に向けた資質向上と働き方改革の推進。

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	〈現状〉 ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査結果から児童のつよみとよわみを把握し、学びのポイントを意識した授業の実施。 ○配慮を要する児童への学習意欲の向上と基礎学力の定着に向けた個別指導の実施。 〈課題〉 ○全国学力・学習状況調査を分析すると、国語の「話すこと・聞くこと」、算数の「数と計算」が課題。 ○学ぶ楽しさ、わかる楽しさを味わわせるための指導の工夫・授業改善と個別最適な学びの充実。 ○個別最適な学びを充実させるための手段として、授業改善とICTの効果的な活用。	・国語・算数等における各学級でのつよみとよわみを明確にし、課題を解決に向けた方策の設定と結果の見届けを行う。	① 担任が自学級のつよみとよわみを明確にして、目指す児童の姿の実現に向けた方策を考え実施する。当初面談等を通して担任と確認をしながら実施する。日々の教室訪問や授業参観を実施して指導や見届けを行う。また、1学級1時間の授業参観実施後に各学級の課題の確認と具体的な方策を設定することで見通しをもち学習指導を展開する。 ② 校内研修で全国学力・学習状況調査を分析して、本校の課題を明確にするとともに、解決に向けての取組を協議する。また、学びのポイントを意識した授業改善や工夫の実現に向けた具体的な方策を立て取り組む。						
		・個別最適な学びを充実させるための授業改善とICTの効果的な活用	① 校内研修と関連させた、主体的な学びや個別最適な学びや効果的なICT活用を実践する。 ② 児童による全国学力・学習状況調査の振り返りを実施することで、結果から自分の課題を見出す経験を積ませる。そのことにより、学びの関心・意欲を向上させる。						
2	〈現状〉 ○I S S（インターナショナルセーフスクール）国際認証校（令和2年1月まで）を継承するための活動を実施。 ○新体制一年目の生徒指導委員会の実施と教育相談委員会との連携。 〈課題〉 ○I S S（インターナショナルセーフスクール）認証校としての取組を継承した取組の見直しと設備の修理。 ○安全で美しい学校を目指した安全点検や環境整備、清掃活動の充実。	・児童にとって安心・安全な学校となるための環境整備。 ・生徒指導、教育相談、特別支援教育部会の充実。	① 生徒指導委員会を充実するために、具体的な対応策を練る場とする。また、ケース会議や専門機関につなげることで支援の充実を図る。 ② ISSを継承する活動を見直し、児童が安心・安全について主体的に考え行動できるような取組を年間指導計画に位置付ける。						
		・美しい学校の実現に向けた環境美化活動の充実	① 美しい学校となるように、児童が毎日の清掃を集中して主体的に取り組めるように、児童会や学級で掃除の工夫について話し合い、全校で取り組む。 ② 安全点検を月1回確実に実施する。点検表や集約した内容の確認を、管理職・安全主任・事務が必ず目を通した上で対応する。						
3	〈現状〉 ○学校運営協議会では、めざす学校像に向けて、子どもたちに付けたい力について熟議。よさである「進んであいさつができる」課題である「自分のよさを知り、自信へつなげる」について教職員が共有。 ○学校運営協議会、S S N、防犯ボランティア連絡会を定期的に開催し、保護者や地域の方に、本校の教育活動や児童の様子を周知。 〈課題〉 ○保護者、地域等への学校運営協議会等の取組や活動についての広報活動。 ○保護者や地域の方々へ、学校の取組や児童の活動の様子を周知するための工夫、改善。	・保護者、地域の方に、めざす児童像達成に向けた教育活動の公開	① 校長講話や学校だより、授業参観・懇談会等の挨拶で、学校運営協議会等の取組や児童の様子やよさを積極的に発信する ② 学校H Pに、児童の活動を紹介するページを作成したり、学校運営協議会の取組を紹介したりすることでより多くの方に周知する。						
		・保護者、地域の方と連携した教育活動の実現	① 児童会を中心とした「あいさつ運動」を学期ごとに取り組み、活性化させる。 ② 慈恩寺中学校区の徳力小学校と本校3校で連携したあいさつ運動に取組む。						
4	〈現状〉 ○教職員が一人で悩むことがないように、組織で対応したり、学ぶ場を設けたりと情報の共有。 ○エバンジェリストが中心となり、効果的なICT活用等について情報提供や研修を実施。 〈課題〉 ○ICT活用において技能の差が見られる。技能向上に向けた研修の推進。 ○経験の差による教師の資質向上を図るために、OJTの推進と充実。	・教職員一人ひとりの資質向上と働き方改革の推進	① 学期ごとに実施する管理職による授業参観、毎月短時間及び長期休業中に実施する服務に関する研修、毎月短時間で実施する学級経営に関する研修、特別支援教育に関する研修、生徒指導に関する研修等において、必要に応じて講師も招聘しながら教職員研修を行う。 ② 個別最適な学びにつながるタブレットやスタディサブリ等の活用の仕方について、エバンジェリストを中心に実技研修や情報共有を定期的に行う。また、教職員がお互いにより取り組みを情報交換できる雰囲気の職場とする。						